

成績評価・卒業認定について

(1) 成績評価

- ①各授業科目の総合成績（実習を含む）は、100点満点とし、60点以上を合格とする。
ただし、1点未満の端数があるときは、四捨五入する。また、学生指導要録への記入は以下の基準で評定を行う。
A（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）、N（単位認定）
- ②追試験の成績評価は、得点の8割とする。
- ③再試験を受けた者で、その成績結果が60点以上であっても60点とする。

(2) GPAによる成績の評価

- ①学習到達目標を明確にし、履修計画と学習意欲の向上を目指し、GPA〔Grade Point Average：成績評定平均値〕（以下、GPA）制度を導入する。配点は、以下の表に示す。

成績評価	GP算出時の表記	成績素点（100点満点）	GP配点	合否
A	S	90～100	4	合格
	A	80～89	3	合格
B	B	70～79	2	合格
C	C	60～69	1	合格
D	D	59以下	0	不合格

GPA計算式の例は、

$$\frac{(A \text{ 科目 } GP \times A \text{ 科目 単位数}) + (B \text{ 科目 } GP \times B \text{ 科目 単位数}) + \dots + (Z \text{ 科目 } GP \times Z \text{ 科目 単位数})}{(\text{履修科目総単位数})}$$

となる。尚、GPA2.0程度が平均的な成績とされている。

- ②GPAの通知は、学期末の成績表に記入する。
- ③GPAの活用は、履修指導、表彰等の参考資料とする。
- ④留年をした場合は、Dの科目は再履修が必要であるが、D以外の科目においても再履修を希望することが出来る。尚、留年による再履修を行う場合に限り、再履修前と後の成績を比較して良い方の成績を最終的な成績評価とする。
- ⑤GPAが1.2未満の場合は、学生、保証人（家族等）、教員による三者面談等を行う。（また単位履修状況により学科会議で認めた場合も、その対象とする。）

(3) 実習の評価

実習の評価は、実習施設における各期の評価を教員等が総合して採点する。

(4) 卒業資格

学則第 22 条に定める授業科目及び単位数を修得していること。

(5) 卒業の認定

①条件を満たした者について、卒業判定会議の議を経て、学院長が卒業を認定する。

②学院長は卒業を認定した者に卒業証書を授与する。